

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10586001				
授業名	宗教社会と民族文化 B	形態	講義	単位	2
担当教員	磯岡 哲也				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	月曜3限		
授業目的	宗教と社会とのかかわりについて国内のみならず、多様な民族文化をとおして幅広い知識を得、複数の宗教文化、世界宗教、また相互の関係性を理解する。				
授業内容	宗教と社会との関係を具体的に考察するため、宗教が世界の人々の日常生活とどのようにかかわっているか、過去から現在にいたるまでの事例を通して概観する。また宗教の受容や変容について考察する。さらに、エスニシティやナショナリズムと宗教との関係、多民族共生について学習するとともに、民族の宗教運動も取り上げて考察する。				
到達目標	宗教が社会とかかわって存在していることを理解する。 宗教が民族文化とかかわって存在していることを理解する。 多様な宗教文化を理解することは、多文化共生社会の実現に資することを理解する。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（５）>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	授業は講義形式でおこなわれ担当者が毎回の授業運営にあたるが、約半数の授業では授業のなかに2人ずつのペアワーク、3人以上のグループワークといったアクティブラーニングを取り入れる。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	ISBN：978-4-7907-1682-2, 「宗教社会学を学ぶ人のために」, 井上順孝編, 世界思想社, 2021.12.20				
評価方法	宗教現象を、人間理解の一助とし社会科学的文脈で対象化して理解し、「民族文化」との関連について理解するための授業内容である。そこでこれに関する、事前・事後学習、小レポート、最終レポートにより総合的に評価する。				
評価基準	〔評価基準の割合〕 事後学習レポート30点、小レポート30点、最終レポート40点の計100点				
試験・レポート等のフィードバック	小レポートについては、次回の授業で講評する。 最終レポート提出は、14回目に行うが、その結果は、次の授業内で講評し、解説を行う。 なお特別の事情がある最終レポート未提出者は、再試験を受験してもらうことになる。				
注意事項及び履修条件	15回を通じて、主体的に学習に取り組むようにしてください。 事前学習・事後学習を欠かさないように願います。 また、提出物は必ず提出するようにしてください。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	宗教と社会についての自分の知識や興味を頭のなかでまとめ、事前学習レポートとして、発表できるように準備してくる。
授業内容	1. 宗教を見るための姿勢（1） オリエンテーションとして、宗教現象をできるだけ客観的にみる姿勢を身に着ける。教室では、持ち寄った事前学習レポートのうちいくつかを発表し、その後、宗教に関するごく基本的な知識の確認と常識的な事項について確認する。
事後学習	『宗教現象をできるだけ客観的にみるにあたって、自分にとって難しいと思うことを400字程度で紹介せよ』というレポートを作成し提出する。
参考文献	教科書12～13ページ。 授業内で配布するプリント
第2回	
事前学習	宗教を客観的に観ることの難しさと、そのことの問題点を自分なりにメモして授業に臨む。
授業内容	1. 宗教を見るための姿勢（2） 人間存在には宗教現象に対する純粋客観は極めて困難であることを理解する。さらに、客観視の大枠を維持したままで、宗教現象への共感的理解の大切さを理解する。

事後学習	授業ノートを自分なりに整理して、宗教社会を民族問題とかかわらせて理解するさいに、皮相的、ジャーナリスティックな感情論に陥らないことの重要性を確認する。
参考文献	

第3回	
事前学習	1. 教科書130～133ページまでを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。 2. 日本国憲法20条、教育基本法第9条を調べて、ノートに転記する。
授業内容	2. 法と宗教団体（1） 憲法、教育基本法、宗教法人法などを参照し、信教の自由、宗教教育、我が国の宗教団体の基本的状況について理解する。
事後学習	授業でも説明するが、わが国の宗教人口が、総人口の2倍にも上る理由について自分で考え、400字程度のレポートにまとめて提出する。
参考文献	授業内で配布するプリント

第4回	
事前学習	教科書149～157ページまでを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	2. 法と宗教団体（2） 宗教法人の仕組みについて理解する。また、日本の宗教人口と総人口との関連について、グループで話し合う。あわせて生活のなかの宗教についても理解する。
事後学習	信教の自由、宗教法人について、学んだことを400字程度にまとめ、さらに疑問に思うことがあれば、書き加え、提出する。
参考文献	

第5回	
事前学習	教科書271～273ページの5つの以下のグラフについて、それぞれの意味を読みとり、グラフからわかることをメモする。 ⑧「宗教を信じるか」に関する意識の推移 ⑨「宗教を信じるか」に関する意識（全体・男女・年代別） ⑩「「あの世」を信じるか」に関する意識 ⑪「宗教か科学か」に関する意識 ⑫「先祖を尊ぶか」に関する意識の推移
授業内容	3. 日本人の宗教意識（1） 日本人の宗教意識と宗教行動について、各種統計資料を通じて理解する。ことに壮年期以降に宗教を信じるようになる我が国の傾向について考察していく。日本人の宗教意識について、グループワークで話し合う。
事後学習	授業内容について、ノートを整理して、復習し、学んだこと、疑問に思ったことなどを記録する。それを400字程度のレポートとして提出する。
参考文献	授業で配布するプリント

第6回	
事前学習	前回配布したプリントから任意のグラフ2つ、および教科書274ページのグラフ⑬「信仰を持っている大学生の割合」について、それぞれの意味を読みとり、グラフからわかることをメモする。
授業内容	3. 日本人の宗教意識（2） 日本人の宗教意識、ことに若者の宗教意識と宗教行動についての各種グラフを読み、グループワークを通して理解を深める。
事後学習	授業内容について、ノートを整理して、復習し、学んだこと、疑問に思ったことなどを記録する。それを400字程度のレポートとして提出する。
参考文献	

第7回	
事前学習	教科書234～238ページ、247～253ページを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	4. 宗教調査とカルト問題（1） 宗教調査の方法と着眼点を理解し、自分が簡単な調査を行うとしたら、どのようなものが可能か考え、グループワークで発表しあう。また、授業内試験の説明をする。
事後学習	期末レポート作成についての各人の作成計画について、その概要を400字程度にまとめて提出する。
参考文献	授業中配布するプリント

第 8 回	
事前学習	教科書113～118ページを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	4. 宗教調査とカルト問題（2） 宗教社会学で扱うカルト問題について理解する。また、近年宗教を装ったカルト運動が大学キャンパスに現れている。そのうちの一部は学修環境の逆機能をもつものもあることを知識として持つことの意味を理解する。
事後学習	大学におけるカルト問題について、先進的な他大学で作成した学生向けビデオを授業中紹介するので、そのうちの任意のものを視聴し、それへの感想や疑問をまとめ、400字程度のレポートとして提出する。
参考文献	

第 9 回	
事前学習	教科書203～205ページまでを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	5. 宗教文化圏とキリスト教（1） 世界宗教として最大のキリスト教の発生と教義、現代におけるあり方、とくにカトリックとプロテスタント、近代主義と根本主義との相違について理解する。基本的知識を得た後、ペアになって感想を話し合う。
事後学習	キリスト教について、各自任意のテーマで調べ、400字程度にまとめてレポートとして提出する。
参考文献	授業中配布するプリント

第 1 0 回	
事前学習	前回配布した日本におけるキリスト教に関する文献を読み込んで、その内容を把握する。
授業内容	5. 宗教文化圏とキリスト教（2） 日本に受容されたキリスト教の受容についてその内容を理解する。わかりにくい用語等は事典を使って調べておく。また、第二次世界大戦後の人々のキリスト教会離れ、宗教的無関心のなかでのキリスト教のあり方について、概論的に理解する。
事後学習	世界宗教であるキリスト教の日本でのあり方について、各自が持つイメージ、あるいはこれまでにキリスト教との何らかのかかわりがあれば、400字程度にまとめて、提出する。
参考文献	

第 1 1 回	
事前学習	教科書206～207ページまでを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	6. 宗教文化圏とイスラム教（1） 世界宗教として伸張するイスラム教の発生と教義、現代におけるあり方について理解する。基本的知識を得た後、ペアになって感想を話し合う。
事後学習	イスラム教について、各自任意のテーマで調べ、400字程度にまとめてレポートとして提出する。
参考文献	授業中配布するプリント

第 1 2 回	
事前学習	ハラール食について自分でしらべ、おおよその理解をしたのちに教室に臨むようにする。
授業内容	6. 宗教文化圏とイスラム教（2） 日本におけるイスラム教との共生をはかる意味とそのための方法について、理解し、グループワークとして話し合う。ことにハラール食についての理解を試みる
事後学習	授業で配布された、宗教文化土試験のイスラム教についての問題を自分で解いてみる。
参考文献	授業で配布されたプリント

第 1 3 回	
事前学習	教科書217～222ページまでを読み込み、重要と思われる箇所に傍線をひく。わからない用語は、辞典等で調べてくる。
授業内容	7. 日本宗教の国外への広まり 戦前からの日本人移民による仏教の外国への流出、戦後、国外布教を熱心に果たした日本の新宗教などについて、その事実と意味を理解する。
事後学習	世界に広がる日本の新宗教について、任意のものを選択し、その広がりを中心に400字程度にまとめ提出する。
参考文献	授業中配布するプリント

第 1 4 回	
---------	--

事前学習	大韓民国の面積、人口、大まかな歴史、日本とのかかわり等について調べ、メモする。
授業内容	8. 韓国宗教への理解（1） 異文化社会であり、隣国である韓国の宗教状況を、日本と比較しながら理解する。 授業内試験としてレポート提出をしてもらう。
事後学習	授業内容について、ノートを整理して、復習し、学んだこと、疑問に思ったことなどを記録する。それを400字程度のレポートとして提出する。
参考文献	授業中配布するプリント

第15回	
事前学習	配布したプリントについての熟読し、わからない点は調べて、理解しておく。
授業内容	8. 韓国宗教への理解（2） 現在キリスト教国といっても過言ではない韓国の教会文化について、新しいプロテスタント教派を事例に理解する。
事後学習	授業内容について、ノートを整理して、復習し、学んだこと、疑問に思ったことなどを記録する。また15回の授業についての振り返りを各自行う。
参考文献	授業中配布するプリント

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
---------------------------------------	--

ディプロマポリシー	<大DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-（1）> 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-（2）> 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-（3）> 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-（4）> 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2> 【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-（1）> 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。 <大DP2-（2）> 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。
-----------	---